デジタル古地図「高遠ぶらり」アプリケーション製作・活用事業

取組に至る背景・事業の目的

本プロジェクトは、伊那谷に多く残る地域文化・自然遺産、観光情報等の地域情報資産の活用に向け① だれでもアクセス、編集・活用できるデジタルアーカイブの構築並びに ② 生涯学習、学校教育及び観光等のための新しいツールとしてのデジタル古地図アプリケーションの制作 ③ 生涯学習、学校教育及び観光等のための参加型学習・創造プログラムの企画・提供を目的としている。

本プロジェクトは、伊那市立図書館との協働事業であるとともに、より広域の自治体や市民社会組織などの地域団体との連携・協働のモデルとなることも目指している。

事　業　内　容

平成23･24年のデジタル古地図制作やこれを使ったワークショップなどの取組みの成果を踏まえ、平成25年度は以下の事業に重点をおき活動した。

○アプリケーションソフト「高遠ぶらり」Android版制作
○「高遠ぶらり」を使用した認定ガイド育成及び機材整備
○「ちずサミット（デジタル・コモンズ・フォーラム）」開催
○ジオパークぶらり開催

【ジオパークぶらりワークショップ】

事　業　効　果

○アプリケーションについては引き続き新地図を追加するとともに、観光客や地域住民から期待を寄せられていた「Android 版」へ対応したことで、より多くの方へ提供することができた（累計ダウンロード件数約 20,000 件、約 36 カ国）。
○「ちずサミット」は、上伊那・伊那谷地域のデジタル・コモンズ（共有財産）の構築と活用を促進するために「伊那谷デジタルコモンズ・デザイン・フォーラム月間」として開催。デジタルメディア、地域アーカイブやその活用（教育・地域づくり等）について地域にその有用性を広めた。地域アーカイブの先進的な取り組みをしているパネリストを招きシンポジウムを開くなど、地域発のデジタルアーカイブとその活用を伊那谷、信州に発信する先進的な取組となり、全国各地から参加者を迎えた。
○地域協働については、新規協働プロジェクトを３件展開（国交省地域事務所、新宿区及び郷土研究会）。
○地域の歴史遺産のみならず自然遺産である南アルプスジオパークをテーマに自然科学へも展開し、新たな生涯学習や学校との協働事業が開始できた。
○伊那市観光協会より「高遠ぶらり」の名称やデザインを使用したクーポンチケットや街歩きマップの制作などの申し出があり、地域観光イメージの核として“高遠ぶらり”や“伊那まちぶらり”が活用され始め、観光分野のビジョン、イメージへの影響力も高まった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

全国的な認知度を今以上に向上させるために定期的にヴァージョンアップし情報の新鮮さを保つとともに事業への参画者の増加を図ることで、事業の自立性・持続性をさらに高めることを目指したい。

協働プログラムについては、広域文化圏の地域遺産にかかわる取り組みとして広げながら、本アプリを使用したツーリズムなどを定着させるため、地域団体や観光関連の方々と一層の協働を進める。

【選定のポイント】

平成 23・24 年度のﾃﾞｼﾞﾀﾙ古地図を使った取組の成果を踏まえ、住民協働で「Android」版の制作や｢認定ｶﾞｲﾄﾞ講座｣、｢ちずｻﾐｯﾄ｣等を開催した。また、市観光協会や井上井月顕彰会等の地域づくり団体との連携も図られ、今後ﾃﾞｼﾞﾀﾙ古地図による観光振興等に一層弾みがつくことが期待される。

団体名　「高遠ぶらり」制作委員会(伊那市) 連絡先　電話：0265-94-3698 ホームページ　http:/Takato-burari.info メールアドレス　Takato.burari@gmail.com	事業タイプ　ソフト・ハード事業 事 業 費　２，９８３，８１４円 支援金額　２，１０７，０００円